

## 録画モードの種類と特徴

Panasonic

放送画質

ハイビジョン画質

標準画質 / DVD画質

録画モード	DR	HG	HX	HE	HL	HM	HZ	XP	SP	LP	EP	FR	
	1.5～15倍録												
	デジタル放送をそのままの画質で記録	デジタル放送の放送データを圧縮して記録						従来のアナログ放送と同様の画質で記録					
画質と記録時間の関係	高画質 記録時間は、放送内容により異なる									ディスクの残量に合わせ、XP～EPモードより画質を自動で調整			
特徴	DRモード（ダイレクトレコーディングモード）は、デジタル放送のハイビジョン番組をそのままの画質で、ハードディスクやブルーレイディスクに記録が可能です。画質や音質にこだわりのある方には、この録画モードがおすすめです。放送局からの信号をすべて記録するため、他の録画モードと比較し多くの容量を必要とします。  例：25GBのブルーレイディスクにBSデジタル放送（24Mbps）のハイビジョン画質番組を録画した場合の記録時間は、約2時間10分となります。	ハードディスクやブルーレイディスクに録画する場合、放送画質（DRモード）もしくはハイビジョン画質で記録されます。ハイビジョン画質の録画モードは1.5倍から15倍まで、21種類のモード選択が可能です。動きの速いスポーツ番組や、照明による明暗部分の変化が激しい音楽ライブ番組は1.5倍録などの高画質録画モードがおすすめです。また、ドラマなどの動きの少ない番組の場合は、3倍録から8倍録を選択すると、ハードディスクの容量を気にすることなく、たくさんの番組録画が可能です。  DVDディスクにこのハイビジョン画質で記録する場合、他のレコーダーやプレーヤーで再生できない場合がありますので、ご注意ください。						標準画質 / DVD画質は、DVDディスクでのみ記録が可能です。他の機器で再生する場合の互換性が高くなります。FRモードは、ディスク一枚の容量を余すことなく有効に記録が可能です。  《4.7GBのDVDディスクへの録画時間》 XP 約1時間 SP 約2時間 LP 約4時間 EP 約8時間 FR 最大8時間					
記録できるディスク	BD-RE							×					
	BD-R							×					
	DVD-RAM	×											
	DVD-R	×											
	DVD-R DL	×											
	DVD-RW	×					×						